

広報たしる

No. 367

昭和59年3月号

田代町総務課編集

1,550部発行



人 口

基本台帳人口 昭和59年1月31日現在		前月との 増 減
男	2,102人	3人
女	2,279人	11人
計	4,381人	△ 8人
世帯数	1,467戸	△ 2戸

父ちゃんゴールイン!!

各地で豆まきが行われた二月四日節分の日に、上部地区（山下、岩崎、表木、折小野、山ノ口部落）では、初めての試みとして親子による地区一周駅伝大会を実施しました。

七区間を小学生から四十歳以上のお父さんまでが全力を出して力走し、沿道の地区民の皆さんから大きな声援を送られていました。

初めての試みでしたが、大変好評だったほかに、まだ物足りないという声もあり、来年からは距離を二倍にするということです。

これを機会に、尚一層、地区の皆さんが結束し、上部地区だけにとどまらず、田代町全体が活気にあふれるようお願いいたします。

加入できる人は

農業者年金の被保険者には、法律上当然に被保険者になる「当然加入」と本人の希望により被保険者となる「任意加入」とがあります。

必ず加入しなければならない人

当然加入

当然加入の資格者は、① 国民年金に加入していて、② 60歳に達する月の前月までの期間等が20年以上あり、そのうえ、③ 自分名義の農地等の面積（小作地を含む。）が50アール（2ヘクタール）以上ある農業経営主です。

希望によって加入できる人

任意加入

任意加入の資格者は、当然加入の①と②の要件を満たしている人で、次のいずれかに該当する人です。

- (1) 自分名義の農地等面積（小作地を含む。）が30アール以上50アール未満（1ヘクタール以上2ヘクタール未満）で、年間の農業労働時間が700時間以上である農業経営主。
- (2) 自分名義の農地等の面積が50アール以上の農業経営主の直系卑属（子や孫等）のうち、その経営主から農業後継者として指定された1人の人であって、引き続き3年以上農業に従事している人。
- (3) 農業生産法人の常時従業者である構成員で、その法人名義の農地等の面積をその法人の構成員数で割った1人当たりの面積と自分名義の農地等の面積の合計が50アール以上である人。

昭和59年度農作業標準賃金設定

- 1) 農作業全般について
- 2) 1日の実労働時間（8時間）

年 度		59 年 度
項 目		
1 日 当 り 農 作 業 賃 金	男	3,700円
	女	3,000
水 田 賃 料 金	耕 起 圃場整備地区内	6,000
	(10a当り)	地区外 7,000
	耕 起 (10a当り)	地区内 7,000
	(水田車輪使用の場合)	地区外 8,000
	整 地	地区内 6,000
	(10a当り)	地区外 6,500
	田 植 機 料 金	地区内 5,500
	(10a当り)	地区外 6,000
稲 刈 機 料 金	(10a当り)	地区内 6,600
	(10a当り)	地区外 7,000
脱穀料金・米・麦（1俵当り）		550
畑作賃耕料金		5,500
整 地（10a当り）		

◇ 農業者年金についてのお申し込み、ご相談は…

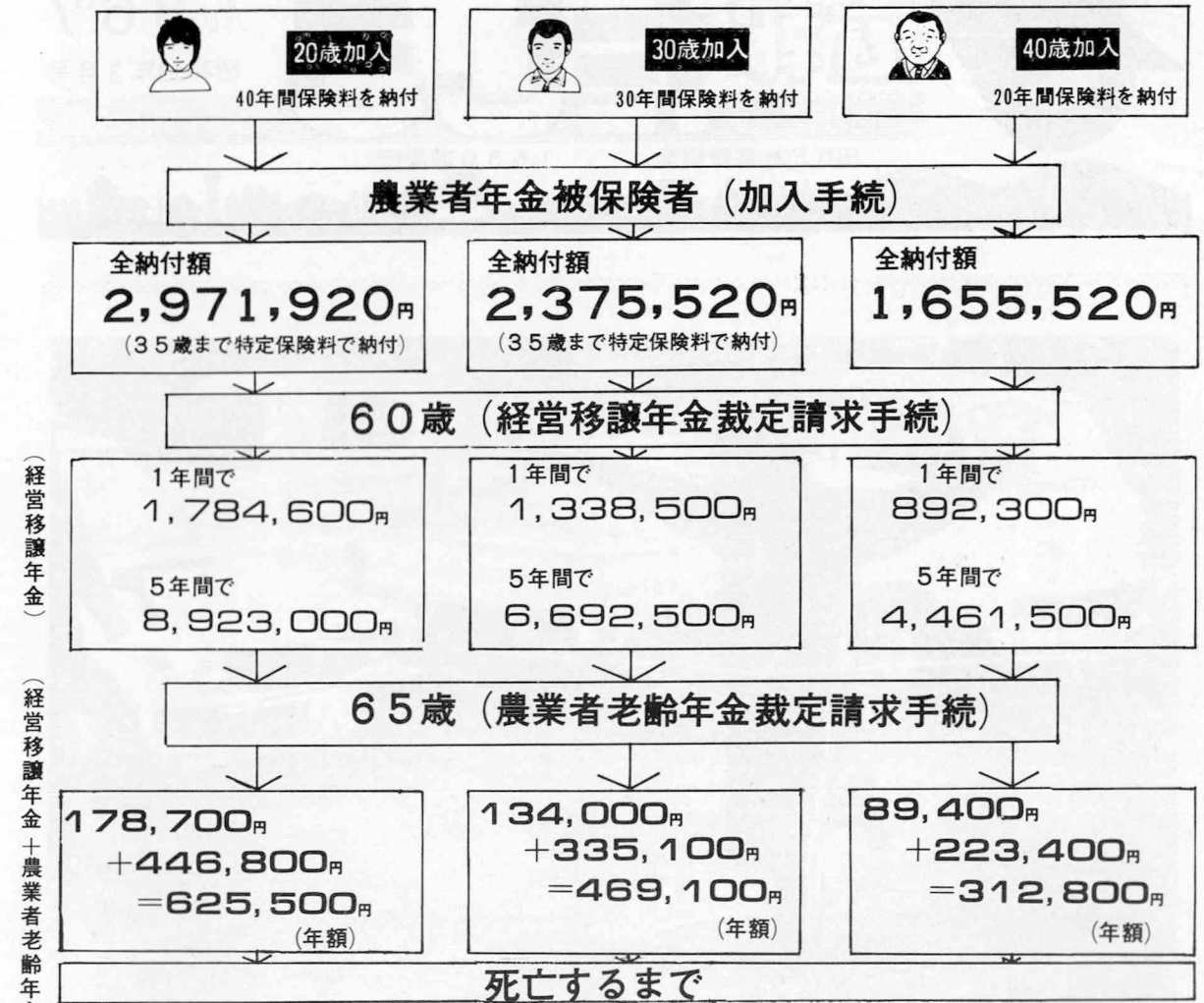
農業者年金の事業は「農業者年金基金」が行っていますが、多くの具体的な事務は農業委員会や農業協同組合が行っています。
農業者年金についての詳しい内容は農業委員会や農業協同組合にお問い合わせください。

育(て)よ(う)農(業)者(年)金
豊かな老後を約束します

将来にわたって安心のできる年金です

加入期間が長いほどとる年金額は
大きくなります

農業経営を移譲した後の生活設計に
ゆとりを与えます



(経営移譲年金)

(経営移譲年金+農業者老齢年金)

＜年金額の物価スライド＞ 年金額は、全国消費者物価指数が5%を超えて変動したときは、変動した率を基準として、自動的に改定することになっています。

(注) この表は59年1月1日現在の保険料の額及び年金支給額の算式により計算しています。

経営移譲年金はどんなときにもらえるか

農業者年金に加入して60歳になるまでに20年間以上保険料を納めた人が、自分名義の農地等を後継者に譲ったり、第三者の規模拡大に役立つように譲って農業経営を廃止（又は縮小）した場合に、経営移譲年金がもらえます。

経営移譲は、農地等の所有権を移転するだけでなく、後継者や第三者に10年以上貸し付けてもよいことになっています。

後継者移譲は自分名義の農地等の全部（30アール以上）を移譲しなければなりません、第三者に移譲するときは10アール以下の自留地を残してよいことになっています。

経営移譲年金はいつからもらえるか

- ① 60歳までに経営移譲したときは、60歳から支給されます。
- ② 60歳から65歳になるまでに経営移譲したときは、その時から支給されます。

(注) 65歳以降の年金額は60歳～64歳の額の約10分の1の額となります。

若いうちに加入するほど有利です

農業者老齢年金はどんなときにもらえるか

農業者年金に加入して20年間以上保険料を納めた人は、経営移譲をしてもなくても65歳から農業者老齢年金がもらえます。(経営移譲しない人は、60歳の誕生日の前々日に農業者年金の被保険者であることが必要です。)

保 険 料

保険料には一般の人が納める通常保険料と35歳未満の若い後継者が納める特定保険料とがあります。

	通常保険料	特定保険料
59年1月以降(月額)	6,130円	4,370円
60年1月以降(月額)	6,550円	4,680円
61年1月以降(月額)	6,960円	4,970円

(注) 保険料は、年金額のスライドが行われた場合には、それに引上げられます。

講演会「成人病で倒れない為に」を開催して
年々増加している成人病の予防を図る為の成人病予防週間を機に本町でも去る二月十三日

健康だより

正しい電話の使い方、受けかたなど電話のマナーをわかりやすく説明する電話教室を行なっております。各種団体、小グループでもけっこうです。お気軽に御連絡ください。

二、電話教室の案内

一、電話の移転申し込みは早めに
転勤や引越など電話を移転する場合は早目にお申し出ください。
三月から四月は電話工事のラッシュアワーとなりますので、御希望の日に工事を行なうためにも一週間くらい前までにお申し込みください。電話〇九九四二二一〇〇〇〇（無料）

大根占電報電話局

からのお願い

一、電話の移転申し込みは早めに



ユーモアたっぷり草野先生の講演

に「成人病で倒れない為」と題し講演会を開いたところ多数の方々御参加をいただき有意義なお話を聞いていただきました。そこで講演内容の要点を紹介すると、成人病予防で大切なことは、成人病の多くは悪い生活習慣の産物だということをよく心得て第一に、正しい食生活、食習慣を「塩と砂糖（糖質食品）」を減らし、バランスのとれた食事をする。塩からい食事で腹いっぱい御飯は、高血圧のもと、主食の食べすぎや、間食のとり過ぎによる太り過ぎは糖尿病や高血圧をまねき、心臓にも負担をかける。白や黄緑色野菜、海藻類、魚肉卵、豆腐等の蛋白質やビタミンは毎日欠かさずバランスのとれた献立を、食事は家族そろって楽しく、ゆっくりよくかん

で、腹八分にとる習慣を。第二に、精神、心の安定をはかる。イライラや怒りは大敵、感情の高ぶりは心臓や血圧、潰瘍にすぐ影響。過度の緊張やストレス・心労の蓄積は万病のもと、自分に合った気分転換で気持ちを落ち着けよう。第三に、規則正しい生活のリズムをつくる。規則正しい生活のリズムがないと、食事や睡眠などが不規則になり、過労に陥りがち、整った食事と十分な睡眠で、仕事の疲れの回復を。第四に、スポーツ・軽い体操を「軽い疲労はぐっすりねむるか、身体を動かし、常に使わない部分の筋肉を使う様な体操をし、気分転換を図れば取り去ることができすし運動により、足腰の筋肉の衰えを防ぐだけでなく筋肉の毛細血管の発達を促し、脳細胞の老化迄も予防します。又心筋梗塞等の心臓病・糖尿病・腰痛を予防し、ストレス解消にも役立ちます。しかし急な運動は危険です。まず歩く事から始め、ラジオ体操等毎日心掛けましょう。第五に、健康診断を「成人病予防に大切なのは、日常生

戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません

「ガイジンさん」

がやってくるー南方圏からいも交流ー

国民年金

保険料は四月から六、二二〇円に

「春風にのって外人さんが来る三月十三日から二十八日まで田代町に三人の留学生が来られます。」

これは、南方圏交流センター（鹿屋市）が昭和五十七年から実施しているもので、今年で第三回を迎えます。留学生の皆さんが「もっと日本の地域の生活や文化を知りたい」という希望をされ、これにきっかけとなって始まったものです。

このからいも交流の目的は（1）農家、漁家、一般家庭等に民泊し、家庭の一員として



労働を共にする。（2）鹿児島県の歴史や文化、生活などを学び日本への理解を深める。（3）交流を通じてめばえる友情や相互理解が国際色豊かな地域づくりに寄与し、ひいては世界平和に貢献できるとなっています。

昨年春には、二十二ヶ国一〇四人の留学生の皆さんが鹿児島県下の農家、漁家、一般家庭等に民泊し、汗と土と潮にまみれながら寝食をともにされました。

今回もたくさんの国々から県内各地に留学生の皆さんが日本の家庭に入り、文化や生活を学び、友情やことばをこえたすばらしい人間関係をおき土産に、交流を深められることと思われまします。

田代町では、各機関、団体と連絡をとりながら、三人の留学生の方々一つでもいい思い出を作って帰られるようすでに協議会が開催され準備をととのえています。留学生を受け入れてくださる家庭は川前徳夫さん（池野）近川正人さん（辺志切）



尾ノ後幸一郎さん（表木）のみなさんですが、交流期間中、いろいろな行事が予定されていますので、町民の皆さんもどしどし参加され、交流を深めてください。

尚、留学生の皆さんは、日本語の日常会話については不自由なく話せる方ばかりですので、遠慮なく声をかけていただきたいと思います。そうすることが留学生の皆さんにとっても、あたたかい人情にふれられるいい機会になると思われます。

子供の交通事故防止

新学期を控えて



子供を交通事故から守るためには、ドライバールの皆さんの安全運転と、子供たちへの思いやりが必要で

ドライバールの皆さんへ

ぜひ、次の点を厳守してください。
●子供の「飛び出し」は突発的です。子供の姿を見たらスピードを控え目にし、徐行運転を。
●子供が道路を横断しようとしているときは、後続車に合図を。
●発進、後退のときは、周囲に子供がいなければ確認。
●左折するときは、左側に自転車に乗った子供や歩行者がいなくても十分確かめて徐行を。

国民年金の保険料が、今年の四月から一ヶ月につき、六二二〇円（付加保険料納入者は六六二〇円）に変わります。これは、老齢年金の受給者がふえ続けるのと、物価上昇に歩調を合わせて年金額が増額するので、国の負担金も多くなりますし、保険料も改めるわけです。

皆さんの負担も重くなりますが、よりよい年金を受け取るため協力ください。また、生活が苦しくて、保

会社等に入ったら

国民年金から厚生年金等の被用者保険に加入されたら、国民健康保険証と社会保険証及び年金手帳を役場の窓口まで持参して、所定の変更手続きをすませましょう。くわしくは、役場国民年金係まで、お問い合わせください。

保険料を収められない人は、保険料を免除する制度もあります。

教育だより

たこ上げ大会 大原小学校



一月二十三日(月)創意の時間を利用してたこ上げ大会が開催されました。

たたみ一枚分よりも大きな風、洋風、奴風、連風など町の青少年教室で学習したり、お父さんと一緒に作ったりした自慢の作品がたくさん見られた。

会場の立神でさっそく学年別に分かれて競技を開始したが、どの子も高く上げようと必死に挑戦した。結果は下記の通りでした。

学年	一位	二位	三位	アイディア賞	努力賞
1	宮原 洋平	有里 美和	竹 聖人	なし	なし
2	板口 哲也	田嶋良美江	中野 光利	永瀬 一也	中野 秀宏
3	板口 雅	人東院 剛	中島 理恵	なし	川辺 直美
4	山下 和明	栗橋 康信	中村 彰子	永瀬 子春	なし
5	木尾 和明	松ノ下大作	田嶋 秀子	板口のぞみ	那須 哲也
6	宮田 良浩	板口美智代	井手口美由紀	板口美智代	板口美智代

三年間の思い出

梅のつぼみもほころび始める三月弥生は、三年生にとって受験、卒業の季節です。学び舎をもうすぐ巣立っていく15才の若者たちに「前途に幸あれ」と声援を送りたい心境です。

三年 前田和彦
三年間の思い出は、いろいろあるが、中でも技術の時間に畑づくりをしたことが印象深い。最初、畑へ行った時は畑というより荒地という感じだった。土も粘土みたいであまりよくなかった。本当に畑になるかなと思ったが、なんとか作物を植えることができたようになった。でも、収穫は少なかった。将来は農業の技術者になりたいが、自由化問題も多いので、迷っている。

三年 唐仁原晴代
みんなと過ごしたこの三年間、白球を追って走った部活動。夜遅くまで騒いでしかられた修学旅行、負けたけど一生懸命だった体育祭、最後に一人一役をモットーに頑張った文化祭、この後、学級がまとまってきました。こんなにすばらしい仲間たちに巡り合えてよかったと思っています。

一年を振り返って

児童会では、季節行事にちなんだ七夕祭り大会や節分豆まき大会等を企画し、楽しい内容で行われた。泣き虫鬼、短気鬼、おこりん坊鬼等、自分の短所を鬼の絵に託し、それに向かって一斉に豆を投げつける様子は厳しく、真剣であった。

一月の持久走大会では、PTAの協力で実施し、一女と六男から四個の新記録が出るなど盛況であった。これはアスレチック施設の成果で足腰が強く我慢できる子に育てたのではないかと思われる。

親子読書会も三十七家族の会員で着実に活動を進めている。これを引き金として、朝読み、夕読み活動がひろがり知性、創造性に富んだ子供が育てられていくことを、一層期待する。昨年、寄贈を戴いた図書は二百八十五冊で、図書室も益々充実してきた。



盤山一周マラソン

大原中学校

本校の体力づくりの一つに盤山一周マラソンがあります。四月の体力・運動能力テストの結果を基にして、自分の劣っている面の強化を主眼に、毎週金曜日の午後、体力づくりを進めています。その一環として、毎月一回、盤山一周マラソン(約七軒)を実施しています。

このコースは、急な坂が大半を占め、最初は生徒達も嫌がっていましたが、回を重ねるごとに、我慢して走ることを会得し、自分のタイムを縮めることを目標として、意識的に参加し、毎回、全員が完走しています。

去る一月二十九日の町民体力づくりマラソン大会には、大部分の生徒が参加し、「継続は力なり」のことは実証してくれました。

これらの総仕上げとして、三月二日に専門部対抗駅伝大会(男子三軒・女子二軒)を実施し、記録に挑戦させ立派な成果を上げました。

この根性と自信が、学力向上のためにも役立つよう、教師・生徒一体となって、努力していきたいと思っています。

卒業予餞式挙行政

南大隅高校田代分校

田代分校では、去る二月二十五日(土)に卒業予餞式を挙げて、43人の卒業生を送り出しました。卒業記念文集「あらせ」から卒業生のことばを紹介したいと思います。

いろいろな思い出を秘めて去ります。サラバ、田代高校(K・T)
○走りたから走った。ただそれだけ……。今はそれもできない。さよなら俺の青春、さよなら友よ(H・H)
○悲しくなったら俺のところに來な、いつでも俺の胸はあけてあるぜ(S・Y)
○三年間がんばりました。みんなお元気で(R・S)
○さようなら、いい思い出があります(T・M)
○やっと卒業できた。パンザイノ(Y・O)

○年老いて死んでゆく時に満足して死ぬるような、そんな人生にしたい。(Y・A)
25人の男子と18人の女子がそれぞれの思いを胸に、学校を、父や母を、そしてふるさと後に旅立っていきます。43人の前途の栄光を祈ります。

大事な学年末です。規律正しい生活をしよう。

青少年健全育成標語入選作品決定

青少年自立自強運動推進町民会議

本町に青少年自立自強運動推進町民会議が発足したことは新年号で紹介しましたが、その活動が推進され効果を上げてきつつあります。

まず、環境整備部は去る一月七日町内の青少年の遊び場たまり場等の点検活動を実施し問題箇所への改善要望書を関係機関団体へ提出しました。

続いて、普及啓発部

では青少年の健全育成の雰囲気づくりのための標語募集を行いました。町民一人ひとりが、この運動への関心と理解を持っていただけるよう広報紙を通じて広く呼びかけました。お陰様で応募があり、同会議で慎重審議した結果つぎの三点が最優秀作品として選ばれました。

・ふるさとの

温もり忘れぬ 子に育て

(基 和代)

・見守ろう地域ぐるみで

人の子も我が子も

みんな田代の子

(中原ミイ子)

春の「青少年を育てる運動」展開中3・11・4・10

「おはよう」とかわす親子に非行なし(上敷領和枝)
たくさんのお応募ありがとうございました。



町開発センター前に設置された看板

学級講座生の集い実施

マ 生涯学習を考える

二月二〇日(月)

例年町教育委員会では各種公民館講座、学級を開設し広く町民の皆様方に学習の機会を提供しています。生涯学習時代と言われる今日、本町におきましても学習への参加が

だんだん積極的になりつつあります。このような情勢の下各学級講座の運営委員(学級長、書記、会計)が集まり、望ましい運営の在り方について研究会を開きました。

各種学級講座の年間の学習状況の紹介ではじまり、運営上の悩みや今後の改善点などが話し合われました。要約すると次の通りでした。

○学級生の意識の向上を図り出欠を明確に連絡する習慣を身に付けたい。

○学習内容により出席したりしなかったりするの、社会人として、人の親として望ましくない。学習参加者同志の人間関係まで学習して欲しい。

○講師の先生との連絡など運営が学校、行政まかせであった。今後は役割分担をきちんとして、自主運営をめざしたい。

○連絡網の整備をしたい。



松村課長講演風景

卒業生を送る会

町高校学生会主催



卒業生へ励ましの言葉

卒業を前にした二月十一日卒業生を送る会が開催されました。卒業生から在校生へ、在校生から卒業生への言葉が続いたあと、本町出身で交通事故で下半身麻痺という障害を克服して立派に社会人として自立しておられる白井義文さんの講演を聞きました。

その後、地区対抗球技大会を実施し、三年生を中心にした和やかな雰囲気の中送る会を終了しました。

卒業される皆さん後輩の期待に応え立派な社会人、学生として励んでください。



球技大会風景

「セツガイ」 町内六ヶ所で実施



小雪の舞う中、点火 (西大原)

本町の伝統行事の一つである「セツガイ」が今年も盛大に行われました。

二月四日節分の日の夜雪まじりの悪い天気の中で、上部地区、西大原、花瀬地区、上原、鶴園、大根田の六ヶ所で実施されました。

どの会場も子どもたちを中心にたくさんの人達が集まりパチパチと勢いよく竹がはじけ、炎が闇夜を赤く焦がす様は神秘的な美しさを感じさせました。

このような伝統行事は親子、地域の人たちが一体となるよい機会であり、子どもたちにとってたいへん意義深いものとなっています。

子どもの健全育成は地域ぐるみでとよく言われますが、このような行事に参加させることが地域（郷土）への愛着を呼び心身健やかな子どもへ成長していくのではないでしょう。

参加 第2回町民 マラソン大会



3kmコーススタート直後

去る一月二十九日、好天に恵まれ第2回町民体力づくりマラソン大会が、昨年の参加を上回る161名の参加を得て盛大に開催されました。

コースは第1回大会と同じでしたが、3キロコース、5キロコースの順でスタートし健脚を競いました。

特に3キロコースには、97名参加しにぎやかでした。結果は次の通り

3 km コース (男子)				3 km コース (女子)				5 km コース			
順位	氏名	タイム	所属	氏名	タイム	所属		氏名	タイム	所属	
1	近川 正人	17:26	一般	大寺ゆかり	17:38	田代中		早瀬 幸男	17:58	一般	
2	栗脇 明浩	12:10	大原小	宮前真由美	11:35	〃		原口 未広	18:03	大原中	
3	山田 修一	12:20	〃	右田千賀子	12:17	〃		門田 明生	19:09	〃	
4	徳永 芳美	12:23	田代小	山崎 和代	12:56	〃		瀬戸口安則	19:32	田代校	
5	松元 鉄史	12:26	〃	池栗須和子	13:17	大原中		川崎 康己	19:40	大原中	

今大会の特徴は高校生の参加が見られた反面、青年層及び一般社会人の参加が少なかったという点です。



上位入賞者勢揃い (3位迄)

来年の大会へ向けて、自分の健康、体力づくりのためにも今のうちからジョギングに努め一人でも多くのランニング愛好者が増えることを期待します。



えーと次はこっちの方向かな?

オリエンテーリング大会

あすの田代を創る町民運動推進協議会主催の第10回ファミリーオリエンテーリング大会が、小春日よりの絶好の天気の下二月十九日開催されました。

今回は、家族ぐるみの参加を広く呼びかけましたが、9ファミリーと小・中学生だけで編成した24組が参加しました。

地図とコンパスをたよりにかくされたポストを探し求めて、二分間隔で出発した各チームは額に汗を流してあちこち野山をかけ回っていました。会場となった中央グラウンド周辺の野山は家族連れ、友だちグループのにぎやかな話

がこだましていました。結果は次の通り

- 1位 福永 誠 田之脇剛
- 2位 中武賢臣 南 義則
- 3位 宮原和成 猪鹿倉博
- 馬場満博 別府久志
- 福山博二 福山洋子

郡青協駅伝 5位

郡青協駅伝大会が、去る二月五日、8ヶ町の青年団チーム参加のもと吾平佐多間48キロコースで行われました。

本町青年団は12月より積極的に練習に取り組み、大会に臨みました。

結局5位に終わりましたが、今後も青年団活動の一環として全団員が一致協力していかれるよう期待します。



決勝点付近 (佐多町)